
ONE PIECE 輪廻を廻った者

きー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ONE PIECE

輪廻を廻つた者

【ZPDF】

Z0015BA

【作者名】

きー

【あらすじ】

2011年年末

ある町に1人の少年が居た。

榎 竜稀

彼は、何故か自分のモノではない記憶をいくつも持っていた。ある時は、平安時代の役人としての記憶、またある時は、戦国時代の大名としての記憶を夢として見る事があるのだ。しかもまるで自分が体験した事の様に感じるのだ。しかしその記憶のどれもが20代前半までの記憶で途切れてしまうのだ。竜稀は、そんな事を気にしな

がら平凡な生活を送るのだった。
しかし、そんなある日竜稀の生活が一変する。

世界を変える者

2011年年末

ある町に1人の少年が居た。

榊 さかき
竜稀 たつき

彼は、何故か自分のモノではない記憶をいくつも持っていた。ある時は、平安時代の役人としての記憶、またある時は、戦国時代の大名としての記憶を夢として見る事があるのだ。しかもまるで自分が体験した事の様に感じるのだ。しかしその記憶のどれもが20代前半までの記憶で途切れてしまうのだ。竜稀は、そんな事を気にしながら平凡な生活を送るのだつた。

2011年もむすべ終わつとしているある日

? 「うううううう寒つ、めひやくひや雪積もつてんじやん……」りやさしだとONE PIECEの新刊買つて帰るか。毎週ジャンプでも読んでるけどやっぱミックスは、楽しみだな。魚人島篇も終盤だからなあ。いた楽しみだ。」

このONE PIECEファンがこの物語の主人公 榊 さかき
竜稀 たつき である。

竜稀「よし、新刊買つたし、他に用事もないし帰るか。帰つたらさつそく読まなきやな。つかこここの信号相変わらず待ち時間なげえ

」

バーン

竜稀雪でスリップした車に轢かれてしまった。

竜稀「んん・・・」「こどこだ？」確かあの時・・・ん？！・・・はあ？！おいおい俺まさか轢かれたのか？まだ新刊読んでねえんだぞ。てか死因が雪でスリップした車に轢かれるってどんだけだよ。つつかここどこだよ？」

？「やつと起きたか。」

いきなり声が聞こえ、竜稀が振り返るとそこには真っ白な服を着た男が竜稀を見ていた。

竜稀「つっつっつ？！びっつっつっくりしたああああああ。てかあんた誰だ？いきなり後ろから話しかけんなよーーつかいつたいここどこよ。俺は、生きてんのか？」

？「一から説明してやるからさつ急いで話すな。まず俺は、俗に言う神だ。そしてお前は、死んでいる。」

神と名乗る男の話に納得できない竜稀は、さりげに言葉をかける

竜稀「死んだならここは、どこだよ？マジ意味わからねえ。つか神ってあんた頭大丈夫か？」

神「お前の存在消してやろうか？？その話は、おいといてまずしつかり俺の話を聞け！！いいか、お前は、確かに死んだ。ここは、生と死とは、切り離された狭間の世界だ。普通の者は、ここに来る事は、出来ない。」

竜稀「・・・・・狭間の世界」

神の説明に何か考え込む竜稀そして考えをまとめ神に質問をする。

竜稀「……何で死んだのにここにいるんだ?」

神「お前にも心当たりは、あるはずだ。……お前、妙に臨場感のある記憶を見たことがあるだろ。」

神の言葉を聞き少しの間考える竜稀

竜稀「…………まさか、あの夢のことか?」

神「そうだ。お前が臨場感を感じたは、あの記憶は、実際にお前の魂が体験した記憶だ。」

神の言葉に驚く竜稀

竜稀「俺の……記憶?」

神「ああ。正確には、お前の魂に刻まれた記憶だ。本当は、人間が記憶を持つたまま転生する事は、出来ないはずなんだがお前の魂は、妙な術が掛かっててな生まれて20代前半まで生きると強制的に寿命が終わる様になっていた。さらに死んだらまた記憶を持ったまま転生するようになっていた。そして今日何回目かわからぬ命が終わったのだ。」

神の言葉を聞き唖然とする竜稀

神「すまないと思っている。俺がもっと早くに気づいて対処するべきだった。本当にすまない。」

竜稀に対し深々と頭を下げ謝罪する神

竜稀「・・・まあ、俺は、寿命だつたつて事だろ。死んでビーハー
言つたつてビーハーもなんないでしょ。」

神「許して・・・くれるのか?」

竜稀「今更考えてもビーハーもなんないでしょ。てか死んだのになん
でビーハーにいんだ?」

神「さつきも説明したとおりお前の魂には、術がかけられていたと
言つたよな。」

神の言葉に首をかしげながらひなづく竜稀

神「術は、解いたが犠牲になつたお前には、新しい世界でやり直し
て欲しいと思つてここに呼んだんだ。」

竜稀は、神の言葉に目をキラキラさせながら神に質問を投げかける

竜稀「新しい世界つてまさか俗に言つてリップつてやつか?」

いきなりテンションの上がつた竜稀に困惑する神

神「ま、まあそつなるな。」

竜稀「じゃあ俺が世界指定して良いんだよな。」

神「そういう事だな。もちろんその世界で生きていく為に必要な力

は、『えるつもりだ。』

神の言葉を聴いてさらにてんションが上がる竜稀

竜稀「じゃあ行く世界は、もちろんONE PIECEな…んで
能力は、まず悪魔の実な…実は、俺のオリジナルで動物系 神仏種
力ミカミの実 モデル ポセイドン な…実の能力は、？海の神
だからすべての水を操れる。？力ナズチにならない。？水中を人魚
と同等の速度で移動できる・息も出来る？飛行可能。次に六式。次
に鷹の目のミホークと互角に戦える剣術の才能。次にフェアリーテ
イルの？雷竜？冥竜の滅竜魔法。次にNARUTOの写輪眼・万華
鏡写輪眼・輪廻眼・白眼をノーリスクで使用可能…まあこれだけ
かな」

竜稀の矢継ぎ早な注文とその注文の多さに言葉の出ない神

神「わ、わかつたがそんなに必要か？」

竜稀「あつたりまえだろ…無きやあの世界で生きていけねえよ…！

ものすごい剣幕でまくし立てる竜稀

神「わ、わかつた。では、向こうの世界でがんばれよ…！」

竜稀「ああ、なんかありがとな。」

神「では、行つてこい。」

そう言って神が指を鳴らすとそこに竜稀は、すでにいなかつた。

נַעֲמָן

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0015ba/>

ONE PIECE 輪廻を廻った者

2011年12月30日23時45分発行